

シダ植物ハナヤスリ科

## コヒロハハナヤスリ

*Ophioglossum petiolatum* Hook.

## 【選定理由】

生育する場所もあるが、県下での分布状況の詳細は把握できていない。

## 【概要】

高さ8-25cmの葉を1-3枚出し、担葉体は長さ2-10cm、栄養葉は長楕円形から広卵形、鋭頭から鈍頭、長さ1-6cm、幅0.7-3cm、うすい緑色。孢子穂は長さ2-4.5cmで鋭頭である。

本州（東北地方南部）～南西諸島の各地で路傍、林下や集落内に見られ、しばしば群生する。国外では熱帯か

## 島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：－

環境省：－

ら暖帯の各地に広く分布している。

## 【県内での生育地域・生育環境】

生育する場所もあるが、県下での分布状況の詳細は把握できていない。いずれにしても県下での生育地は少ないものと考えられる。

## 【存在を脅かす原因】

除草剤散布。

シダ植物ハナヤスリ科

## ハマハナヤスリ

*Ophioglossum thermale* Komarov

## 【選定理由】

採集されたとの報告があるが、県下での分布状況の詳細は把握できていない。

## 【概要】

小型の夏緑性のシダで栄養葉は細長く、線形から卵形で孢子穂は4cmになるものもある。北海道から南西諸島の海岸の湿った砂地から川原などに生育し、シベリア・中国・台湾やマイクロネシアに分布する。また、内陸部の比較的乾燥した場所に生え、栄養葉の幅広い部分が中央より基部にあるコハナヤスリ var. nipponicum があり、こ

## 島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：－

環境省：－

れは本州・四国・九州と中国・台湾に分布する。

## 【県内での生育地域・生育環境】

県西部で採集されたとの情報があるが、現状は把握できていない。

また近年隠岐でコハナヤスリと思われる個体の生育が確認されている。

## 【存在を脅かす原因】

除草剤散布。

シダ植物シシラン科

## ナカミシシラン

*Vittaria fudzinoi* Makino

## 【選定理由】

県内で採集された標本はあるが、現状不明である。全国的にも希少種であるので自生が確認された場合厳重な保護を必要とする。

## 【概要】

常緑性で、根茎は短く匍匐し、葉は線状で長さ25-45cm、幅3-5mm。葉の表面に中肋が隆起し、その両側に溝がある。孢子囊群は葉縁と中肋の中間の浅い溝に生じる。

本州（奥多摩以西）・四国・九州で、山中の岩上や樹

## 島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：－

環境省：－

幹に着生するがまれである。国外では中国南西部に分布する。

## 【県内での生育地域・生育環境】

県西部で記録され、採集品も博物館に納められているが、現状は不明である。

## 【存在を脅かす原因】

森林伐採、土砂の堆積、採集。

キンポウゲ目キンポウゲ科

## シマキツネノボタン

*Ranunculus sieboldii* Miq.

## 【選定理由】

県内での生育地の記録があるが、現在での明らかな生育地の確認ができていない。

## 【概要】

やや湿気のある地に生える多年草。茎は地を這うように伸び、白毛が密生し、葉を互生する。葉は長い柄があって3出複葉、小葉がさらに3中～深裂する。花は春から夏に咲き、葉に対生する形で長さ5cmばかりの花柄に花をつける。花弁は黄色、長楕円形で長さ5mmばかり、萼は反曲して咲く。

国内の本州中国地方から四国、九州、南西諸島に分布し

## 島根県：情報不足（DD）

島根県固有評価：分布限界種（北限）

環境省：－

て、さらに中国にも分布するとされる。

県内では出雲部および石見部での一部に生育地があるとされる記録があるが、現在のところ不明であって、消滅したと思われる。

しかし、県内のその他の地に生育地が確認される可能性が考えられる。

## 【県内での生育地域・生育環境】

生育地が確認できない。

## 【存続を脅かす原因】

生育地が確認できないので、状況が把握できない。

バラ目バラ科

## コゴメウツギ

*Stephanandra incise* (Thunb.) Zebel

## 【選定理由】

県内での生育地はきわめて限られていて、個体数もきわめて少ないものである。

## 【概要】

夏緑低木で、葉は互生し、三角状広卵形、長さ5cm、幅3cmばかり、大小欠刻状で、重鋸齒縁が特徴的で目立つ。花は経4-5mmの小花、白色で散房花序に多くつける。

国内では、北海道、本州、四国、九州に分布し、国外では朝鮮半島、中国大陸と、広い範囲に分布する植物と

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：-

される。

## 【県内での生育地域・生育環境】

県内ではきわめてまれであり、旧羽須美村地内江の川の川岸岩崖から河川敷岩上に僅かな個体が知られていたほか、匹見町大神ヶ岳岩崖に数株が生育しているだけの状態である。

## 【存続を脅かす原因】

生育地の自然な遷移による樹林化による消滅が心配される。

バラ目マメ科

## オオバクサフジ

*Vicia pseudo-orobus* Fisch.et Mey

## 【選定理由】

近年、生育地が急激に減少し、生育個体数も激減している。

## 【概要】

山地林縁などに生える、蔓性の多年草。葉は長さ3cm、幅2cmばかりの小葉を5-8ほどつける。羽状複葉を互生する。

## 【県内での生育地域・生育環境】

山地林縁、時には耕作地周辺に生えたが、近年はまったく見られない。

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：-

## 【存続を脅かす原因】

林縁の刈り込み等の管理放棄により、生育地の適地の消失。

ツツジ目イチヤクソウ科

## シャクジョウソウ

*Monotropa hypopitys* L.

## 【選定理由】

県内での生育地は限られているように思われるが、県全域での生育地や個体数について状況が明らかでない。

## 【概要】

山地林内に生える腐生の多年草である。植物体は茎が高さ20cmばかりに地上に伸び、少しばかりの鱗片葉をつけ、全体が淡黄褐色である。夏前に、茎の先の総状花序に5-6個の花を下向きにつける。萼片、花弁ともに4枚で長楕円形、長さ1cmばかり、花後、果実は上向きに立ち上がる。

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：-

国内では北海道から本州、四国、九州に生え、北半球の温帯域に広く分布域があるとされる。県内では山地のコナラ林内などに時折り生育個体をみるが、県内全域での生育地や個体数がどの程度であるのか情報不足である。

## 【県内での生育地域・生育環境】

生育地が安定して確認できないので、状況が把握できない。

## 【存続を脅かす原因】

前記の状態にあって、不明である。

シソ目シソ科

## キセワタ

*Leonurus macranthus* Maxim.

## 【選定理由】

生育地は明らかに減少していて、その現況が明らかでない。

## 【概要】

山地の草地に生える夏緑性の多年草であり、草丈は1m程になる。茎は4角で、狭卵形で長さ7-8cm、幅5cmばかりの葉を対生する。花は夏に咲き、茎の上部で葉腋に紅紫色の花を数個ずつつけて咲く。花冠は筒状、唇形で、下唇の中央裂片は下方に強く曲がる。花冠は密に白い毛があるのが特徴的である。

国内では北海道から本州、四国、九州に分布して中国

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

写真 口絵 16

大陸に分布が続くものとされる。昭和60年代には出雲部山地に生育地が点在していて、県内に広く生育地が存在していたと思われるが、その今まで知られていた生育地はすべて消滅していて、県内での分布状況はまったく明らかでない。

## 【県内での生育地域・生育環境】

前記の状態にあって、生育地は安定した場所ではないようである。

## 【存続を脅かす原因】

生育環境が安定しないことによる環境変化。

シソ目ナス科

## アオホオズキ

*Physalisstrum savatieri* (Makino) Makino

## 【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれであり、個体数もまれである。

## 【概要】

山地のやや陰湿な地に生える。草丈40-50cmほどの柔らかい多年草。葉は長楕円形、長さ10cm、幅4-5cmばかり。葉の腋に1-2個の淡緑色の花をつけ、1-2cmの卵形、緑色の果実をつける。

## 【県内での生育地域・生育環境】

生育地がまれで、確認できない。

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

## 【存続を脅かす原因】

遷移。

シソ目ナス科

## オオマルバノホロシ

*Solanum megacarpum* Koidz

## 【選定理由】

県内での生育地はきわめてまれであり、個体数もまれである。

## 【概要】

国内では、本州中部地方以北、北海道などの山地の湿原に生える蔓性多年草。

## 【県内での生育地域・生育環境】

県内では生育地が、三瓶山麓「浮布の池」畔などに以前から知られていた。この「浮布の池」のものは近年、調査は充分とはいえないが、個体数はきわめて少なく、

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：-

絶滅寸前の状態である。

## 【存続を脅かす原因】

遷移。

シソ目タヌキモ科

## イトタヌキモ(ミカワタヌキモ)

*Utricularia exoleta* R.Br.

## 【選定理由】

滅反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池や休耕田の保全・管理が年々行われなくなっている。

## 【概要】

本州と九州の湿地や溜池、水田などに生育する。茎はごく繊細な糸状で直径1mm以下、盛んに分枝して絡み合いマット状になる。花茎は長さ5-15cmで褐色、花は淡黄色で大きさ3-4mmほど。

## 【県内での生育地域・生育環境】

これまでのところ宍道湖北岸の溜池と休耕田の湿地で

島根県：情報不足DD

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

観察例があるが、全県的な調査は行われていない。

## 【存続を脅かす原因】

農業形態の変化による溜池の管理不足と水田の乾田化。

キキョウ目キキョウ科

## バアソブ

*Codonopsis ussuriensis* (Rupr. et Maxim.) Hemsley

## 【選定理由】

県内ではきわめてまれな植物で、個体数もどれ程のものかも把握されていないように思われる。過去において標本が得られた場所での調査でも、まったくこの種の生育を確認することはできていない。

## 【概要】

山地林縁などに生える多年草の蔓草。ツルニンジンに似た草であるが、全体に白毛があり、塊根は球形で花は小さい。

日本から朝鮮半島、中国東北地方などに分布域がある

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

ものとされるが、もともとまれな分布の植物とされるようである。

## 【県内での生育地域・生育環境】

生育地が確認できない。

## 【存続を脅かす原因】

遷移。

キキョウ目キク科

## ムラクモアザミ

*Cirsium maruyamanum* Kitamura

### 【選定理由】

県内での生育地はまれであって、生育地での個体数も少なく、県内全域での分布状況が明らかではない。

### 【概要】

山地の林縁や草地の水湿地から水田の傍などの水湿地に生える夏緑の多年草。根生葉は長楕円形で長さ20-30cm、幅10cm程で、羽状に中、深裂する。花は夏に咲き、高さ30-50cmばかりに花茎を伸ばし、上部で2-3の枝を分けて、先に頭花が点頭してつく。国内の中国地方山間のみ分布する植物とされる。マアザミとノアザミの

### 島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：基準標本産地

環境省：-

自然雑種起源の植物ともされ、県内ではおもに出雲部中国山地沿いの地にまれに生育地がみられるが、個体数はきわめて少ない。石見部にも分布の可能性があるが、はっきりとした生育地の情報はないようである。

### 【県内での生育地域・生育環境】

現在での生育地が確認できない。

### 【存続を脅かす原因】

遷移による生育地の消滅。

キキョウ目キク科

## ミヤコアザミ

*Saussurea maximowiczii* Herder

### 【選定理由】

県内では以前にはかなりあちこちに生育地があったが、近年急激に減少し、絶滅が心配される。

### 【概要】

山地林縁など草原状地に生え、草丈50-100cmになる多年草。葉は長楕円形で長さ20-30cmばかりで羽状深裂。花(頭花)は秋に咲き、径1cmばかり、散房状に多くつける。

国内では西日本、国外では朝鮮半島、中国東北部にかけて分布域がある植物とされる。

### 島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：-

### 【県内での生育地域・生育環境】

現在での生育地が確認できない。

### 【存続を脅かす原因】

遷移による生育地の消滅。

イバラモ目イバラモ科

## トリゲモ

*Najas minor* L.

### 【選定理由】

除草剤の影響のほか、減反あるいは圃場整備により、主要な生育場所である溜池や側溝の保全・管理が年々行われなくなっている。

### 【概要】

本州、四国、九州の湖沼、溜池、水田、溝などにまれに産する1年生の沈水植物。オオトリゲモよりも全体が小形で、葉の長さは1-2cm。葉の大きさには変異があるので、オオトリゲモとの確かな識別は、雄花の葯室の数が1室(トリゲモ)か、4室(オオトリゲモ)かによる。

### 島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

### 【県内での生育地域・生育環境】

不明。

### 【存続を脅かす原因】

除草剤の使用及び農業形態の変化による溜池の管理不足と水路のコンクリート化。

カヤツリグサ目カヤツリグサ科

## アブラシバ

*Carex satzumensis* Franch.et Savat.

### 【選定理由】

県内での生育地はまれに知られるが、その場の遷移によって消滅することがあって、長続きする生育地は無いようである。

### 【概要】

山地の裸地に生える多年草。草丈10-20cmばかり。花序は円錐形で多くの小穂をつけ、上方に雄花穂、下方に雌花穂をつける。

国内では本州の東北地方南部から四国、九州に分布するとされる。

### 島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：-

環境省：-

写真 口絵 16

### 【県内での生育地域・生育環境】

県内では東部及び中部に生育地が知られている。生育地は山地の草原状地や露岩状地である。

### 【存在を脅かす原因】

遷移による生育地の消滅。

ラン目ラン科

# ハクウンラン

*Vexillabium nakaianum* F. Maek.

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：－

環境省：－

**【選定理由】**

県内での生育地はきわめて限られていて、生育地の個体数も多くはない。

**【概要】**

山地樹林内に生育するやや小型の植物で、茎のもとの方は地に這い、上部はやや立ち上がる形態である。葉は卵円形で径5mm程で互生する。花期は夏であり、茎頂部に白～淡桃色の小花を数個つけて咲く。

国内でのこの種の分布は本州、九州で、さらに朝鮮半島にも分布域があるものとされている。

**【県内での生育地域・生育環境】**

県内での生育地は隠岐（島後）の一部にのみ知られていて、照葉樹林域の二次林であるウラジロガシ萌芽林内である。この種の二次林は島内に同じような状態の地は多くあり、この種の植物の生育立地は広く認められるように思われるが、生育地はきわめて少ない状態である。

**【存続を脅かす原因】**

樹林伐開による生育地の乾燥化。園芸上での採取。

絶滅  
野生絶滅

絶滅危惧Ⅰ類

絶滅危惧Ⅱ類

準絶滅危惧

情報不足